

# EVC & マフラーで feeling最高!

トライアル ☎ 0729-65-6823

●20万円で40万円分の満足感だ〜!!

お金を使わずに、パワーUPがてきりや、もう最高ノでも、そうは問屋がおろしてくれないってのがチューニングの世界だが、HKSの新品、EVC<sup>®</sup>は、ターボチューンのエポックメイキングパーツといえそうだ。

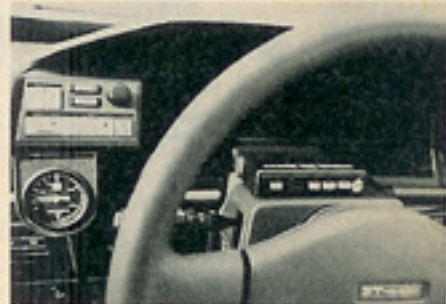
へつにHKSの宣伝をするわけじゃないけど、このEVCは、なかなかのシステムなんだ。ストリート主体のターボチューンに力を注ぐ大阪のトライアルでも、正直いってこのEVCの実力にはソッコン。

というのも、電子式のブーストコントローラーというだけじゃなく、パワー、フィールングと、どれをとっても、これまでのパーツを使ったチューンとは、ググッと変わってくるのだ。

原理的には、電子回路を使ってブースト圧を任意にコントロールするのだから、VVCと同じようなものだけど、EVC+トライアル75 $\phi$ マフラー(こいつが音も静かて、なかなか品のいいマフラーなんだ)の組み合わせは、セッティング&取り付け工賃込みで20万円弱とは思えないほどの走りっぷりを見せてくれる。

ピークパワーを超えると、パワーカーブは急激に落ち込んでいくのが、ノーマルタービン&エンジンの場合、普通だ。しかし、EVCでコントロールするブースト圧は、チェックシート上で、横走りを見せる。

おまけに、電子回路でコントロールされるブースト圧は、4、5速のみでなく、1、2速でもキチンとブーストをかけ、VVCを使ったものとは、レスポンス、パワーフィールングともに別物のように仕上がる。



↑これまでのVVCとくらべるとドライブフィールグはグンと向上する。アクセルのON・OFFにリアに反応するのがうれしい。

この組み合わせで、パワーは1Gツインなら240馬力、7MGで330馬力という、パワーをマークする。しかも、このシャシダイナモ上のパワーは、実走行でもそれほど変化なく体感できる。

アクチュエーター式のノーマルタービンを考えているひとにとっては、まさにビッタシのシステムといえるんじゃないだろうか。

VVCの2万8000円にくらいへると、EVCの8万4000円は高いと思うかもしれない。しかし、VVCを使って、これと同程度のパワー&フィールグを出そうと思えば、ブースト圧をUPして、Fコン、燃料増量、ガスケット交換、インタークーラー等の補機チューンをしなくちゃダメ。

これらをくくめると、約40万円———てことは、EVC+マフラーの20万円の倍ちかかかってしまうことになる。ね、このEVCはスコイよ。ハイとロー、マニュアルの3方式にくわえ、ノーマルに戻すこともOKで、使い勝手もこれまでのものにくらべるとグンとよくなっている。いってみりや、使う立場に立ったコストパフォーマンスパーツなんだ。